

国際学会 TEAM2015 に出席して

深沢研究室 M1 門田一輝

私は 2015 年 10/11～10/15 の 5 日間 TEAM2015 というロシアのウラジオストクで開催された国際学会に出席しました。提出した論文は、卒業論文公聴会の時に発表した内容に少し手を加えたものでした。発表するまでの大まかなスケジュールは 5 月末に概要を提出し、6 月末に掲載する論文を提出し、10 月に発表、といった流れでした。自分にとっても初めて書く英語論文だったので、終始苦労し、周りの方々の助言をいただき無事発表をおえることができました。

英語論文を書くということと同時に苦労したことは、ロシアに入国するまでの手続きでした。まず、ロシアのビザを取得することに苦労しました。アメリカなどの場合と異なり、ロシアのビザを個人で取得することは困難であるので今思えばそのプロセスが一番苦労したことであるとも言えると思います。その次に苦労したのは実際にロシアに着くまでの移動です。今回、指導教授が欠席ということもあり、自分ひとりでロシアに行くことに加えて、自分には個人的な海外旅行の経験もなく常に不安が付きまっていたのですが、無事大きな問題もなくロシアに渡ることができました。

現地では他大学の教授や学生の方々にご同行させていただき、非常に有意義な旅となりました。また肝心の論文発表なのですが、案の定緊張し、自分でもうまく発表できているか不安でした。特に質疑応答の際に外国の方とコミュニケーションをとるのが非常に難しく、自分の英語力の低さを痛感しました。しかしその反面、自国の言葉ではない言語で初対面の人とコミュニケーションをとることは非常に新鮮で、大変有意義な時間を過ごせたと思いました。

今回、自分の中で初めて海外出張というものを体験し、様々な国の人々と交流を行い、自分の研究を英語で試すという機会を頂き、学会に行く前は準備が面倒だし手続きもうまくいかず本当にうまくいくのかと思っていたけれど、いざ体験してみると本当に有意義な時間を過ごせたと思うし、貴重な経験をさせていただいたと思いました。学会に出席したのは自分ひとりですがもちろんそれまでに協力していただいた指導教授や周りの学生、また現地でお世話になった他大学の先生や学生の方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。